

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	基礎学力講座・国語 (Basic Aptitude Course ; Japanese)		
ナンバリングコード	A00101	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / リメディアル 基礎科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 前期・後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A031631	クラス名	経営経済学部
担当教員名	安田 幸夫		
履修上の注意、履修条件	選択科目ですが、入学時の日本語プレースメントテストで受講対象と判定された学生は必ず履修してください。 教科書の持参が必須です。各種の問題演習を通して、各自の知識と判断力を駆使し、語学能力の向上を図ります。また、出席が最低限のルールです。		
教科書	◎ 日本語検定委員会(編)『ステップアップ日本語講座 中級』(東京書籍)		
参考文献及び指定図書	『国語の常識』(大修館書店) 『漢字と日本人の暮らし』(大修館書店) 『日本語不思議図鑑』(大修館書店) 『大人の日本語』養成講座(大修館書店) 『文章のレッスン』(大修館書店) 『三省堂国語辞典 第七版』(三省堂) 『新現代文単語』(いっぴな書店) 『現代文の重要知識』(桐原書)		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、文章表現基礎講座、英語1・2、情報リテラシー1・2		

○基本情報	
授業の目的	基礎的な日本語力はあらゆる学習分野で求められる重要な要素です。大学初年度における日本語教育は4年間の勉学生活の土台を提供するとともに、卒業後の社会人が持つべき一般常識を養う側面をも有します。1年次前期の「基礎学力講座・国語」は大学での勉学に必要な最低限の日本語力の養成を図ることを目的とします。同時に今後の就職活動に際して必要となるさまざまな種類の日本語表現の基礎となるものです。また、本科目は1年次後期の「文章表現基礎講座」(必修)への前段階としても有用です。
授業の概要	クォーター制で、週に2回の授業があります。第1クォーターの第3回から第14回まで、各講義の前半は教科書を中心に学習し、後半は演習をします。毎回、問題演習があります。第16回に授業内容についての期末試験を行います。また、合格しなかった人は、続けて第2クォーター(再度第1回～第16回)を履修してもらいます。授業は第1クォーターとほぼ同内容をより細かく行います。期末試験は第16回に行います。合格できなければ、後期に第3クォーターを履修することになります。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「複数クラス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「該当なし」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	日常の言語活動に積極的に関与し、読解力や文章力の習得に努めること。	15点		30点
【知識・理解】	演習問題や新聞・雑誌等の情報に対して、内容の把握理解及び漢字(熟語を含む)が正しく読め、その意味を明確に理解すること。	45点		
【技能・表現・コミュニケーション】	自分の考えを、正確に表現できる、明快で論理的な文章力を身につけること。	5点		
【思考・判断・創造】	日本語が持つ特性を的確に把握し、他への伝達表現能力を確実に習得すること。	5点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
提出されたものについて、課題の主旨を理解し正確に解答・回答しているかを評価します。講義時における講座内容への取り組み点。授業への出席点。

○その他
この科目の単位は卒業要件には算入されませんが、「基礎学力講座」の合格認定が「ゼミナールⅣ」の着手条件となります。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	基礎学力講座・国語 (Basic Aptitude Course ; Japanese) 安田 幸夫	授業コード	A031631
学修内容				
1. 第1回：スタートアップ。 第2回：スタートアップ				
予習				約2時間
復習				約2時間
2. 第3回：オリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方などについて説明し、成績評価の方法にも触れます。講義開始。敬語(1)「敬語とは」「尊敬語」「謙譲語①」 第4回：敬語(2)「謙譲語①」「謙譲語②」「丁寧語①」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
3. 第5回：敬語(3)「丁寧語②」「状況に合わせた敬語の使い分け」「第三者を交えた敬語」 第6回：敬語(4)「第三者を交えた敬語」「電話や手紙における敬語」「誤った敬語の使い方」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
4. 第7回：敬語(5)「誤った敬語の使い方」「さまざまな敬意表現」 第8回：敬語(6)「敬語の学習のまとめ」 文法(1)「用言の活用と接続」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
5. 第9回：文法(2)「可能動詞」「受け身と使役」「文のねじれ」 第10回：文法(3)「接続語」「助動詞」「助詞」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
6. 第11回：語彙(1)「言葉と言葉の関係」「類義語」「対義語」 言葉の意味(1)「多義語」 第12回：言葉の意味(2)「言葉の使い方慣用句」 表記(1)「漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
7. 第13回：表記(2)「漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り」 漢字(1)「熟語の構成」「形の似た漢字」 第14回：漢字(2)「同音異義語」「四字熟語とその適切な使い方」 総合問題(1) ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
8. 第15回：期末試験 第16回：振り返り				
予習				約2時間
復習				約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	基礎学力講座・国語 (Basic Aptitude Course ; Japanese) 安田 幸夫	授業コード	A031631
学修内容				
9. 第1回：敬語(1)「敬語とは」「尊敬語」 第2回：敬語(2)「謙譲語①」「謙譲語②」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
10. 第3回：敬語(3)「謙譲語②」「丁寧語①」「丁寧語②」 第4回：敬語(4)「状況に合わせた敬語の使い分け」「第三者を交えた敬語」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
11. 第5回：敬語(5)「第三者を交えた敬語」「電話や手紙における敬語」 第6回：敬語(6)「誤った敬語の使い方」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
12. 第7回：「誤った敬語の使い方」「さまざまな敬意表現」「敬語の学習のまとめ」 第8回：「敬語の学習のまとめ」 文法(1)「用言の活用と接続」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
13. 第9回：文法(2)「可能動詞」「受け身と使役」「文のねじれ」 第10回：文法(3)「接続語」「助動詞」「助詞」 ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
14. 第11回：語彙(1)言葉と言葉の関係類義語対義語 言葉の意味(1)多義語 第12回：言葉の意味(2)言葉の使い方慣用句 表記(1)漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
15. 第13回：表記(2)漢字・送り仮名・仮名遣いの誤り 漢字(1)「熟語の構成」「形の似た漢字」 第14回：漢字(2)同音異義語「四字熟語とその適切な使い方」 総合問題(1) ※ 演習問題の解答及び添削、基礎力の定着。				
予習				約2時間
復習				約2時間
16. 第15回：期末試験 第16回：振り返り				
予習				約2時間
復習				約2時間